

事業所名 のびすくジュニア共和校

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

令和8 年

2 月

9 日

法人(事業所)理念		利他の心を持って、社会を支える企業へ	
支援方針		障がい児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適應する事ができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。	
営業時間		送迎実施の有無	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>
【営業時間】 月～土 9:00～18:00 ※日・年末年始(12月30日～1月3日):休業 【サービス提供時間】 月～金 10:00～12:00 13:30～17:30 土 9:30～12:30 13:00～16:00			
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	体温測定などを行い、健康状態の把握と対応を行います。 生活に必要な基本動作(衣類の着脱、箸、リボン結びなど)が獲得できるように支援していきます。	
	運動・感覚	ビジョントレーニングなどを行うことで、手と眼の協応性を高め、物との距離感を把握して行動したり、板書がしやすくなるように支援していきます。 風船やボール、トランポリンなどを用いて遊びながら楽しく身体機能を高められるように支援していきます。 聴覚過敏などの感覚の特性を踏まえ、環境調整等の支援を行います。	
	認知・行動	プログラムの流れをスケジュールボードで視覚支援したり、「あと〇回」などの声掛けを行い、見通しを持って取り組めるようにすることで、気持ちの切り替えがしやすくなるように支援します。また、成功体験を積み重ねることで達成感や満足感を得ながら、自己肯定感を高められるように支援します。 特性や身体機能等を理解して、危険な行為などを回避する事ができるように支援します。	
	言語 コミュニケーション	絵本や絵カードなどを使用しながら、語彙力が高められるよう支援します。 3ヒントや遊びながら聞く練習(〇〇が聞こえたときだけ手を叩くなど)などを取り入れ、指示を最後まで聞く集中力、注意力の向上を図っていただけるよう支援します。 個々にあった読み書き能力の向上のための支援(パズル・絵本・水ペンなど)をします。 レッスンの終了時に感想を聞くことを通して、自分の気持ちを相手に伝えるように表現する力を伸ばすよう支援します。	
	人間関係 社会性	安心して通えたり、不安になった時に相談にのることで、信頼関係を築く事ができるような関りをします。 児童の様子を見ながら小集団の機会を設け、人と良好な関係を築くためのスキルを学んでいけるように、SSTなどを取り入れながら、言葉かけや対応の仕方を伝えます。 相手の気持ちを考えたり、表情を読み取ったりできるようにプリントや実演などでイメージしやすいように伝えます。 ルールや勝敗のある遊びを取り入れ、他者と楽しく関わられるように支援します。	
家族支援	子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助、きょうだいへの相談援助等の支援を行います。 子育てや障害等に関する情報提供も行います。	移行支援	子どもに対し障害特性等を踏まえた一貫した支援を行うため、子どもが通う学校等と情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等を行います。
地域支援・地域連携	子どもが利用する相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携の取り組みを行います。	職員の質の向上	必要に応じて支援会議・オンライン研修・委員会(虐待・身体拘束防止、感染症対策など)を行っています。
主な行事等	季節や行事に沿った工作		